

科学的探究 高校生を育成 愛媛大など事業 GP受賞



グランプリを受賞した愛媛大の八尋秀典
理事・副学長(右)と加藤晶准教授
＝26日午後、東京都目黒区

教科融合型の学びや課題
発見力の育成を重視するS
TEAM教育で優れた実績

「PLIJ」STEAM・
探究グランプリ」の表彰式
が26日、東京都目黒区の東
京大生産技術研究所であつ

た。愛媛大が中心となつて
進める「四国型次世代科学
技術チャレンジプログラム」
がグランプリを受賞し、
地方創生に有効な取り組み
と評価された。

選定理由によると、同プ
ログラムは四国の国立大、
4県の教育委員会、企業が
連携し、グローバルに活躍
する科学技術人材の育成を
目的として実施。毎年度2
00人以上の高校生が参加
し、段階的な学習を経て、
一部の生徒は大学研究室で
の本格的な研究活動に取り
組んでいる。

理系学部への進学率は75
%以上で、女子生徒の進学
を後押ししている点も評価
された。人口減少が進む中、
四国の社会・経済の発展に
資する取り組みで、ほかの

地域のモデルになるとされ
た。

活動報告をした加藤晶准
教授は「四国全体を一つの
学びの場として、高校生が

主体的に科学的探究に取り
組む環境づくりを進めてき
た。連携の成果が評価され、
うれしい」と語った。
表彰事業は一般社団法人
「学びのイノベーション・
プラットフォーム(PLIJ」
(東京)が主催。ほ
かに10件のグランプリ、2
件の特別賞が選ばれた。選
べた。
(二宮京太郎)

考委員会委員長をNEC特
別顧問の遠藤信博氏が務
め、ノーベル化学賞を受賞
した野依良治氏が祝辞を述

「見出し 科学的探求 高校生を育成 愛媛大など事業GP受賞」
2026年1月17日付愛媛新聞
(掲載許可番号：d20260128-02)